

## 第38回特別企画展

# 司馬遼太郎と壱岐

## 開催のお知らせ

壱岐市立 一支国博物館

一支国博物館では、来る平成29年11月3日（金祝）から平成30年1月3日（水）、第38回特別企画展「司馬遼太郎と壱岐」を開催する運びとなりました。

壱岐島は、古代、東アジア世界の先進文化の地中国大陸・朝鮮半島と海を介して隣接する幸運に恵まれ、独特の文化と歴史を持ちました。そのような壱岐の歴史・文化の魅力を『街道をゆく』『壱岐・対馬の道』の司馬遼太郎の文章・須田剋太の挿絵・関連の写真などで、感じていただきたいのです。会場には、『二十一世紀に生きる君たちへ』の全文をはじめ、壮大な代表紀行『街道をゆく』シリーズや主要作品を展示し、司馬遼太郎の仕事の一端を紹介しています。

つきましては、別紙の通り、企画展概要をお知らせいたしますので、ご多忙中とは存じますが、ご観覧くださいようよろしくお願い申し上げます。

### 記

催 事：第38回特別企画展「司馬遼太郎と壱岐」

会 期：平成29年11月3日（金祝）～平成30年1月3日（水）

場 所：一支国博物館 1階 テーマ展示室

観覧料：無料

時 間：午前8時45分～午後5時30分（最終入館 午後5時）

休館日：11月6日、13日、20日、27日、

12月4日、11日、18日、25日、29日～31日

作品数：約30点

主 催：壱岐市立一支国博物館

協 力：司馬遼太郎記念館

大阪府立江之子島文化芸術創造センター

後 援：壱岐市、壱岐市教育委員会、

長崎県埋蔵文化財センター、

壱岐市観光連盟

※つぎの内容について、別添資料をご確認ください。

◆主な展示品 ◆関連企画

### 壱岐 iki ひとくちメモ

#### 壱岐市の姉妹都市 兵庫県朝来市 祝！日本遺産認定！

「日本遺産」は、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するものです。開始年度である2015年には、「国境の島 壱岐・対馬・五島～古代からの架け橋」が認定を受けました。

今年4月、兵庫県朝来市を含む6市町が申請を行った「播但貫く、銀の馬車道 鉾石の道～資源大国日本の記憶をたどる73kmの轍～」が日本遺産として認定されています。

#### このリリースに関するお問い合わせ

※配信停止などがご要望ございましたら、お手数をお掛けしますが、下記メールアドレスまでお知らせ下さい。

#### 壱岐市立一支国博物館

担当：広報営業 松嶋

〒811-5322

長崎県壱岐市芦辺町深江鶴亀触 515 番地 1

TEL：0920-45-2731 FAX：0920-45-2749

m.matsushima@iki-haku.jp

http://www.iki-haku.jp/

## ◆主な展示品

### ●司馬遼太郎の愛用品（司馬遼太郎記念館所蔵）

司馬遼太郎が執筆の際に用いた万年筆や原稿用紙、体調管理のために身につけたバンダナなど6点の愛用品を展示します。



「万年筆の一本と原稿用紙」  
執筆に使った万年筆と原稿用紙。  
原稿用紙は「司馬」と印刷されている特別製。



### ●画家・須田剋太コーナー （大阪府立江之子島文化芸術創造センター所蔵）

「街道をゆく」シリーズの挿絵を担当し、司馬遼太郎に同行した画家・須田剋太の挿絵原画20点と、画伯が描いた壱岐島の現在の姿を併せて展示。



「壱岐島岳ノ辻展望台 釈迦空歌碑」



「壱岐勝本港 イカツリ船」

### ●大書架イメージコーナー

司馬遼太郎作品の単行本約150点を壁一面に展示（手に取って読むことはできません）。全体の一部にすぎませんが、司馬の執筆した作品の多さが実感できます。

### ●「街道をゆく」 日本地図造作コーナー

司馬遼太郎が「街道をゆく」取材でめぐった土地を一望できる日本地図大型パネル。

### ●二十一世紀に生きる君たちへ 全文紹介パネル

司馬遼太郎が次代を担うこどもたちへ遺したメッセージ「二十一世紀に生きる君たちへ」。読んでいただきたい一冊です。

## ◆関連企画

特別講座（場所：3階多目的ホール 料金：無料 定員：180名）

◎最後の担当編集者が語る司馬遼太郎さんの素顔  
「街道をついてゆく」6年の旅  
講師：村井 重俊氏（朝日新聞出版「週刊朝日」編集委員）  
日時：11月19日（日）14:00～

◎壱岐と司馬遼太郎先生  
講師：須藤 資隆（当館 館長）  
日時：12月24日（日）14:00～

### ミュージアムショップ

書籍販売

◎『二十一世紀に生きる君たちへ』  
◎『街道をゆく』全シリーズ ほか